

<書 評>

「木材接着の科学」

作野友康・高谷政広・梅村研二・藤井一郎編

海青社（本体 2400 円）

木材科学に関する書籍，教科書等を長年にわたって出版している海青社から 2010 年 2 月に「木材接着の科学」が出版された。木材接着に関する書籍としては古いところでは森北出版の「木材の接着と接着剤」（半井勇三著，1961）があり，社団法人日本木材加工技術協会から発行された「木材の接着」（小西信著，1982），その続編である日刊工業新聞社「被着材から見た接着技術木質材料編」（小西信著，2003），また 1996 年には当時日本国内の木材接着研究者が分担執筆してできた産調出版発行の「木材の接着・接着剤」（日本木材加工技術協会編）がある。

この度の「木材接着の科学」は長年木材接着研究に携わり多くの研究発表がある鳥取大学名誉教授作野友康先生が代表編集者となり，全国の大学及び研究機関と産業界の若手から中堅研究者を中心にして執筆されたものである。本書籍はまえがきの中でも述べられているが，上記に羅列した種々の木材接着に関する教科書的な書籍に続いて，「これまでの木材接着の基礎を踏まえつつ新たな情報と今日的な課題を盛り込まれて編集」された内容となっている。

書籍の内容は第 1 章木材接着の基礎，第 2 章木材接着剤の種類，第 3 章木材接着の工程と影響する因子，第 4 章木

材接着の性能評価と接着耐久性，第 5 章木材接着の実用，そして第 6 章には木材接着と環境・健康問題という 6 つの章から成っている。内容に少し触れてみると，第 1 章から第 4 章までは新しく木材接着に関係する企業現場や大学で木材接着を学ぶ上でまずは知って欲しい基礎的な事項であり，これまで出版された書籍と大きく変わらない。第 5 章では主に産業界で接着技術指導されている研究者が執筆を担当され，現場接着などの項目も折り込められている。また第 6 章では昨今の環境・健康問題に接着剤が用いられて製造される木質材料からの揮発性有機化合物（VOC）放散や廃材利用リサイクル技術の現状などに触れられている。

木材接着の科学には，木材の接着機構，木質材料の接着やそれらに使用される木材用接着剤や木質材料を製造する上での技術，接着物の評価や試験方法，さらに接着剤や木質材料・建材から放散されるホルムアルデヒド・VOC の問題まで幅が広い。木材の接着に携わる企業，住宅産業並びに公設研究機関，また大学で森林学・林学・林産学を学ぶ若い学生には必需品として読んで欲しい一冊である。

（静岡大学農学部 滝 欽二）